

人 チーム 制度



長く働ける職場づくりと仕事の進め方

サンコーコンサルタント株式会社 磯野貴大さん

今回ご紹介するのはサンコーコンサルタント(株)の大阪支店で河川設計・計画の仕事に携わる磯野貴大さん。2016年に入社し今年で7年目、仕事とプライベートを両立させて、昨年度20代でRCCM習得された一方、プライベートでも充実した生活を送っています。

プロフィール

氏名 : 磯野貴大  
 所属 : 大阪支店技術部土木課  
 勤続年数 : 7年  
 資格 : RCCM (河川砂防)  
 居住地 : 大阪市

これまでの経歴を簡単に教えてください。

2012年に業界に入り、業界歴は今年で11年目になり、今の会社は7年目になります。河川部門を基本に、東日本大震災の復興事業や洪水災害復旧事業や、河川整備事業や維持補修設計を手掛けてきました。学生時代は土木、建築を学びながら、研究室では河川環境について研究していました。自分の手で川の設計をしたいと思い、建設コンサルタント業界を選びました。

仕事と日常生活は充実していますか？

仕事は忙しいですが、優秀な後輩が2人入ってきて、協力しながら取り組んでいます。

日常生活では、彼女と二人暮らしを始めました。彼女も会社員なので、家事分担をしながら協力して生活しています。

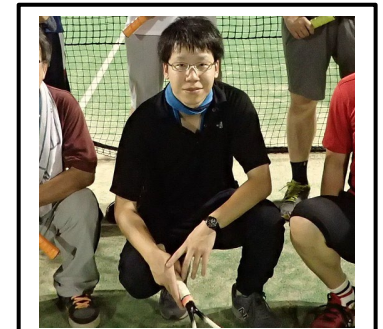
「WORK」と「LIFE」のバランスはどのように保たれていますか？

中々2つのバランスをとるのが私は苦手なので、仕事が詰まっている時は仕事に全力で集中して、プライベートの時間がとれたら遊びを全力で取り組むようにしています。コロナ禍になってから、外出が自由に出来る時と出来ない時があり

ますので、環境に応じて遊びのスタイルもインドアとアウトドアを分けています。

RCCMを習得されて働き方に変化はありましたか？

新規業務の管理技術者を担当することとなり、責任と技術者としての心構えが問われる立場となりました。先輩に教えてもらいながら、自分一人で仕事することも多いのですが、後輩の成長を見守りながら、人に任せるということも大事なことだと感じています。技術者としてまだまだ半人前なので、さらに自己研鑽を図り、技術士の取得が目標です。



社内のテニス部の写真

結婚や育児休暇について社内環境は整備されていますか？

整備されていると思います。同じ河川のグループでも、育児休暇を取得された方が2名ほどおられます。また、短期間ではなく、1年近い長期間の育児休暇も取得できるため、社内の雰囲気もチームで協力しあえる雰囲気になっていると感じました。

最後に、建コンで働く皆さんに伝えたいことはありますか？

建設コンサルタントはまだ他業種と比べても長時間労働が課題とっていますが、近年では働き方改革の取り組みが業界にも浸透し、以前より改善つつあります。テレワークや時差出勤の試みも定着して、より働きやすい環境になっていると思います。自分の手で設計したものが形になる喜びや、複雑な検討から最適な形を見つけ出す面白さが建設コンサルタントの良さだと考えます。仕事にのまれると、良さより大変さの方が多く感じることも多くなります。自分あつての仕事なので、プライベートで気分転換・リフレッシュしながら、長く働ける職場づくりを進めていきたいと思っています。